

三次市社会教育委員会 提言

## 家庭の教育力向上にむけて



平成27年12月

三次市社会教育委員会

## 家庭教育に関する提言にあたり

平成24年三次市では、教育ビジョン～三次「夢人」育て～を策定され、市の教育理念として「夢に向かって挑戦し、自立を図ると共に他者と協力し、すすんで住みよい社会の実現に貢献する、心豊かでたくましい人づくり」と示されています。

社会教育においては、社会教育法に基づき、生涯学習を推進する上で、学校教育と密接な関係のある家庭教育への取り組みとして、きめ細かな家庭教育支援策が求められています。

本市の教育理念に沿って、社会教育委員会では平成26年度から家庭教育のあり方に焦点を絞り、さまざまな議論を重ねてきました。この間、教育委員会、校長会、PTAなどの協力を得て、小学校3年生と中学校2年生の保護者を対象にアンケートによる家庭教育に関する調査を実施しました。

委員自らによる配付、回収、集計および実態の分析を2年にわたって行い、その結果を提言書として作成しました。

また、この提言の骨子を補強するため、委員による家庭の教育力向上をめざし、また啓発活動の一端を担う**三次の子育て5か条**を作成しました。

家庭教育は、主に保護者が子どもに対して基本的な生活習慣や社会規範などを身につけさせるために行うもので、全ての教育の出発点であると言えます。しかしながら近年は、子どもの生活習慣の乱れや社会的マナーの欠如など、家庭教育のあり方が問われています。

家庭教育充実のためには保護者自身の実践はもとより、核家族化や共働き世帯の増加による、家庭環境の変化および人間関係の希薄化などから子育てに悩む保護者、孤立する家庭など、人と地域のつながりに目を向け、社会全体でこれからの世代を担う子どもたちや保護者に対して、家庭の教育力向上のための支援策を講じていく必要があると考えます。

なお、本提言書はあくまで家庭教育に焦点を当てた視点から捉えたものであることを付言しておきます。

終わりにになりましたが、委員会では家庭教育に関する研究調査にあたり、アンケートによる実態調査から始めるなど、ゼロからの出発で、大変な労力と限られた時間のなかでの討論でした。アンケートにご協力いただきました保護者、学校各位のみなさまに厚くお礼申し上げます。

## もくじ

### 1. 家庭教育の現状

(1) アンケート調査集計結果・・・・・・・・・・ 1

(2) 集計結果から考えられる問題点・・・・・・・・ 24

(3) アンケート調査票・・・・・・・・・・・・・・ 25

### 2. 家庭の教育力向上に向けての提言・・・・・・・・ 29

### 3. 資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

## 1. 家庭教育の現状

### (1) 家庭教育に関するアンケート調査集計結果

#### 【調査の目的】

家庭を取り巻く環境は、年々変化し、多種多様の家庭環境となっています。そんななかでの家庭教育の現状を把握し、家庭の教育力向上のためにはどのような取り組みが必要なのかを検討するために、市内の小学3年生と中学2年生の保護者を対象に「家庭教育に関するアンケート調査」を実施しました。

#### 【期間】

平成27年1月16日(金)～30日(金)

#### 【対象】

三次市内の小学3年生の保護者440人と、中学2年生の保護者466人

#### 【回収率】

小学3年生 387人(回収率 88.0%)

中学2年生 466人(回収率 75.8%)

#### 【調査の方法】

社会教育委員が各学校へ直接配付および回収・集計

【学校別回収数】

【小学校】

学校名	配付数	回収数	回収率
布野小学校	7	7	100.0%
作木小学校	11	9	81.8%
粟屋小学校	5	4	80.0%
三良坂小学校	20	19	95.0%
灰塚小学校	3	3	100.0%
吉舎小学校	23	23	100.0%
安田小学校	2	2	100.0%
八幡小学校	5	5	100.0%
三和小学校	15	12	80.0%
君田小学校	7	7	100.0%
川地小学校	15	11	73.3%
清河小学校	6	4	66.7%
十日市小学校	113	99	87.6%
酒河小学校	25	24	96.0%
甲奴小学校	12	12	100.0%
小童小学校	4	4	100.0%
三次小学校	43	34	79.1%
河内小学校	4	3	75.0%
八次小学校	78	64	82.1%
和田小学校	21	20	95.2%
神杉小学校	7	7	100.0%
川西小学校	4	4	100.0%
田幸小学校	9	9	100.0%
庄原支援学校	小3	1	100.0%

計	440	387	88.0%
---	-----	-----	-------

【中学校】

学校名	配付数	回収数	回収率
布野中学校	11	10	90.9%
作木中学校	15	12	80.0%
三良坂中学校	20	13	65.0%
吉舎中学校	33	28	84.8%
三和中学校	24	15	62.5%
君田中学校	12	10	83.3%
川地中学校	21	18	85.7%
甲奴中学校	22	20	90.9%
十日市中学校	110	83	75.5%
三次中学校	58	41	70.7%
八次中学校	63	47	74.6%
塩町中学校	74	55	74.3%
庄原支援学校	中2	3	33.3%

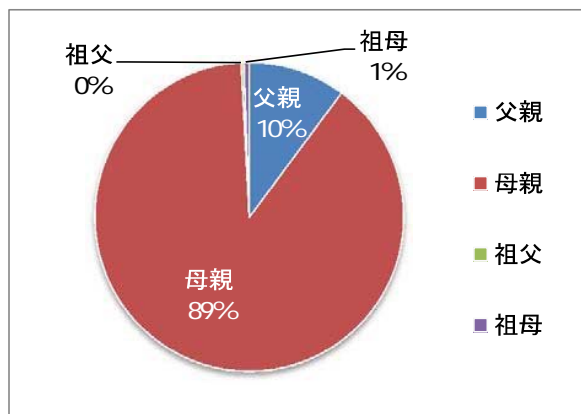
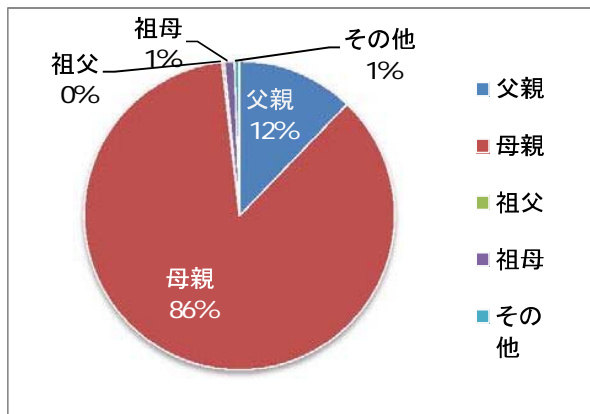
計	466	353	75.8%
---	-----	-----	-------

## 《家庭環境について》

お子さんからみたあなた(記入者)の続柄をお答えください

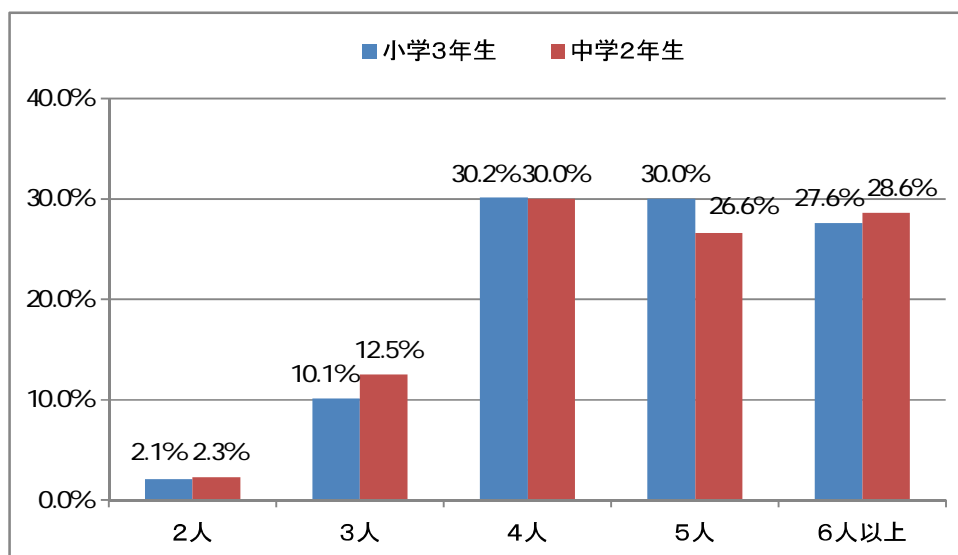
【小学校3年生】

【中学校2年生】



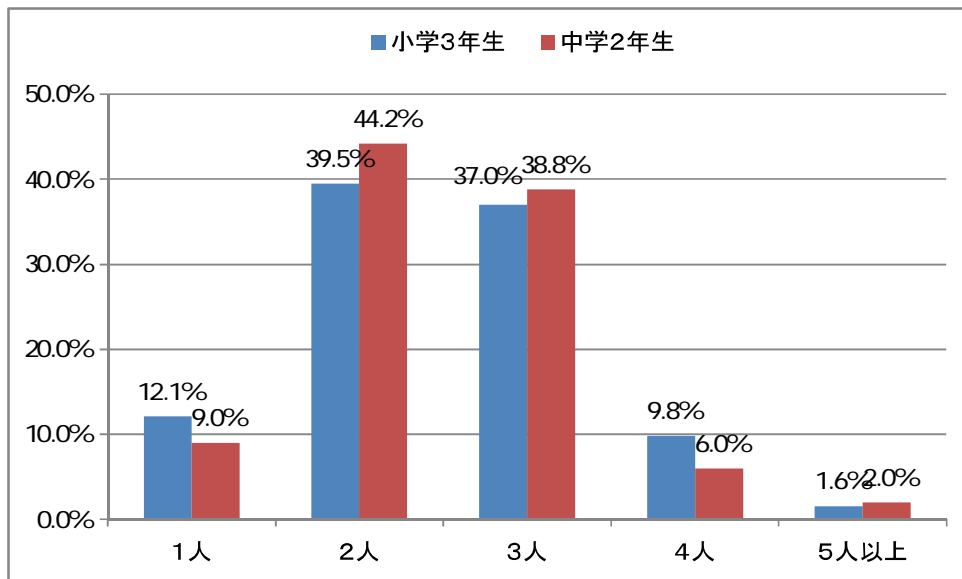
アンケートの記入者は、小学3年生・中学2年生いずれも母親が約90%を占めています。

同居している家族の人数は何人ですか(あなたとお子さんも含めて)



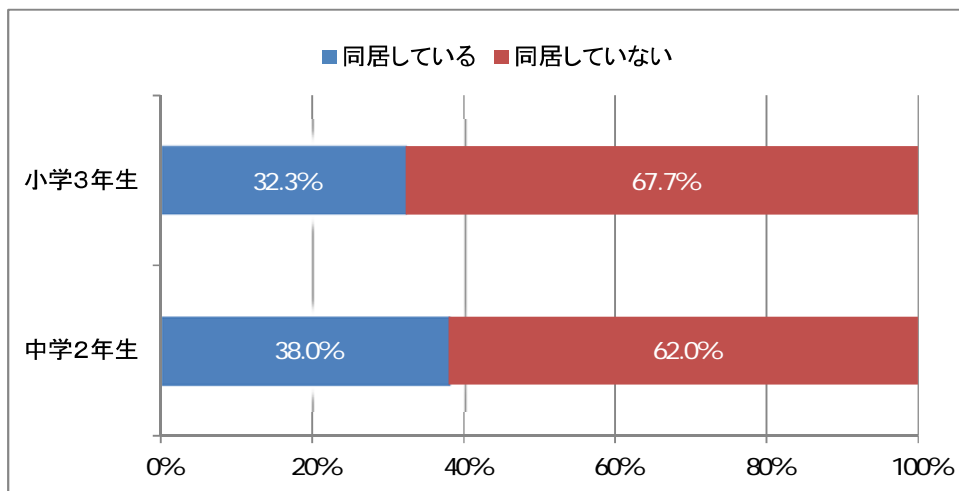
同居の家族数は、小学3年生・中学2年生ともに4人以上で80%を超えています。保護者と子どもだけのひとり親家庭が、2%となっています。

## お子さんは何人ですか



子どもの数は、2人か3人が大多数を占める。  
4人以上よりも、1人の方が割合が大きくなっている。

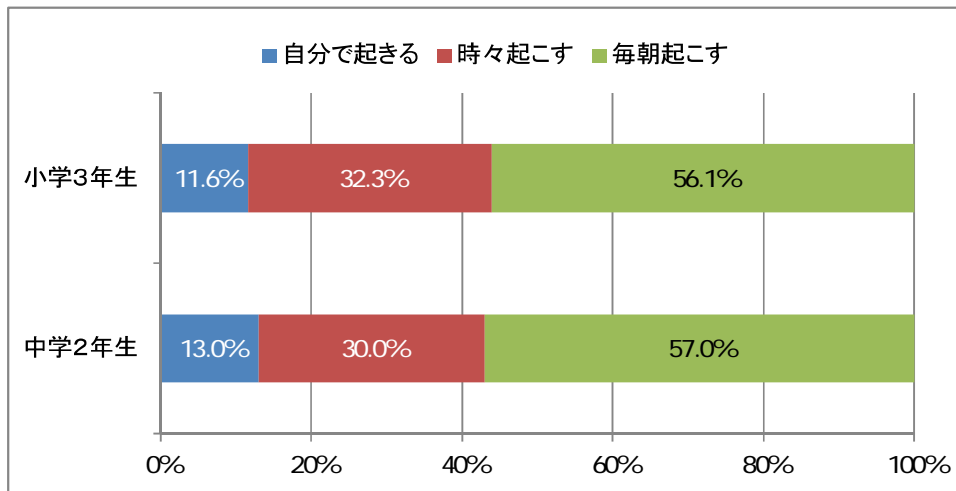
## 祖父母と同居していますか



同居しているのは、小学3年生・中学2年生ともに40%未満となっている。  
同居していない世帯が、同居している世帯のほぼ倍となっている。

## 《生活環境について》

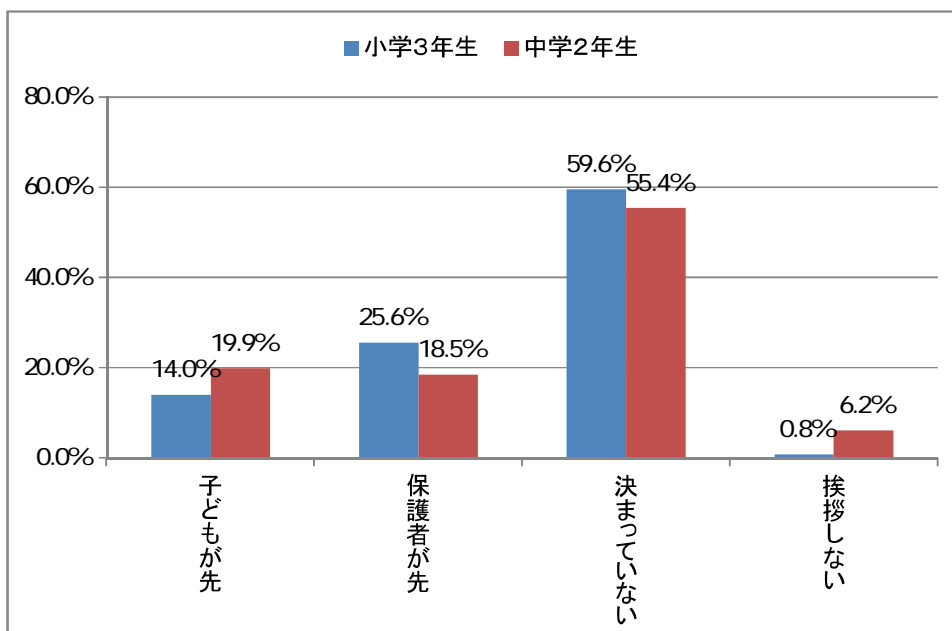
### 朝、お子さんを起こしますか



小学3年生・中学2年生ともに、自分で起きるが12%前後、時々起こすが30%程度、毎朝起こすが57%程度。

小学3年生から中学2年生へと成長してもあまり変化が見られない。

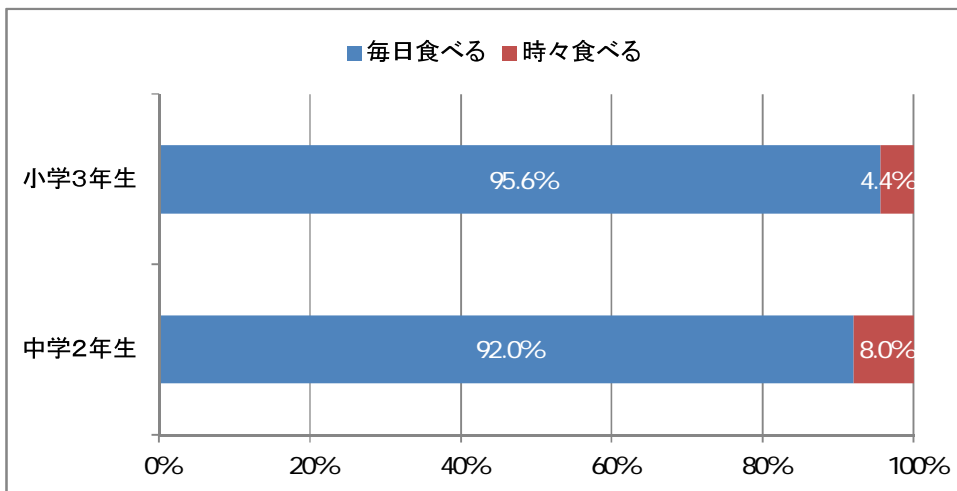
### あいさつをしますか(例えば「おはよう」「おやすみ」など)



子どもが先、保護者が先、あるいは決まっていないとしても、ほぼあいさつはしていると考えられる。中学2年生になって、挨拶しないと答えた割合が、小学3年生の時に比べて約8倍と増加している。

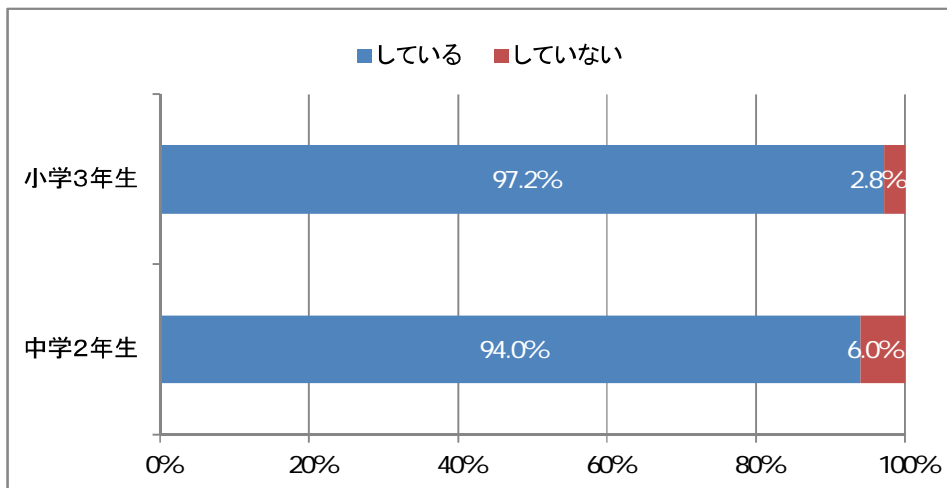


### お子さんは朝ごはんを食べますか



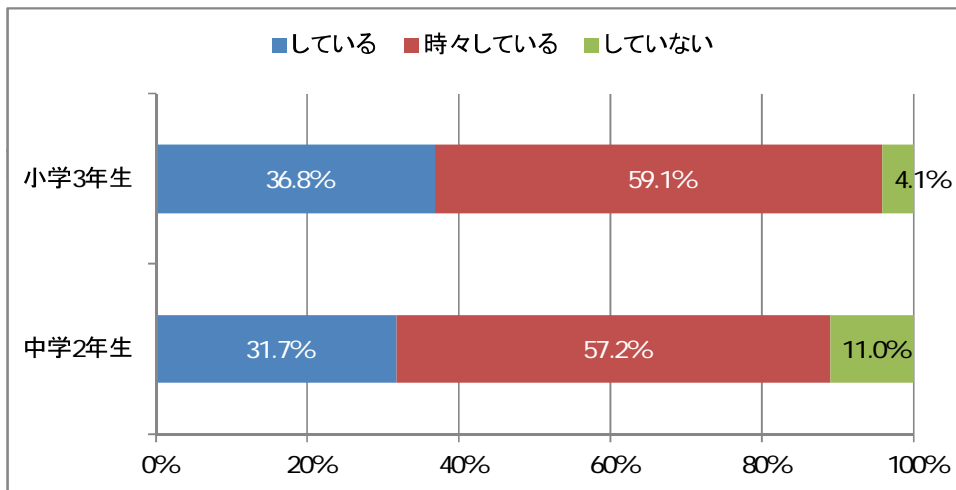
小学3年生も中学2年生も90%以上が毎日朝食を摂っている。

### 家族でよく話をしますか



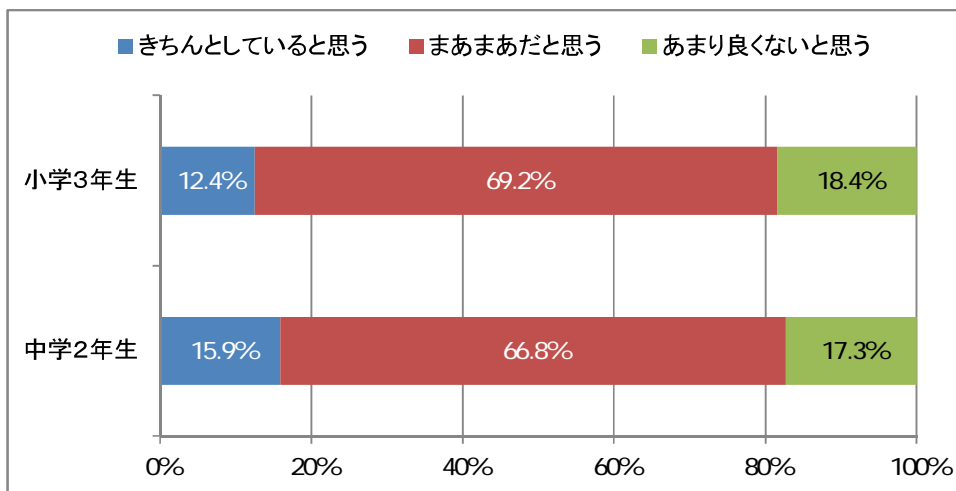
家族で話をしていないと答えた割合が、小学3年生で約3%、中学2年生で6%となっている。朝食を食べない割合と、よく似ている。

## 家の手伝いをしますか



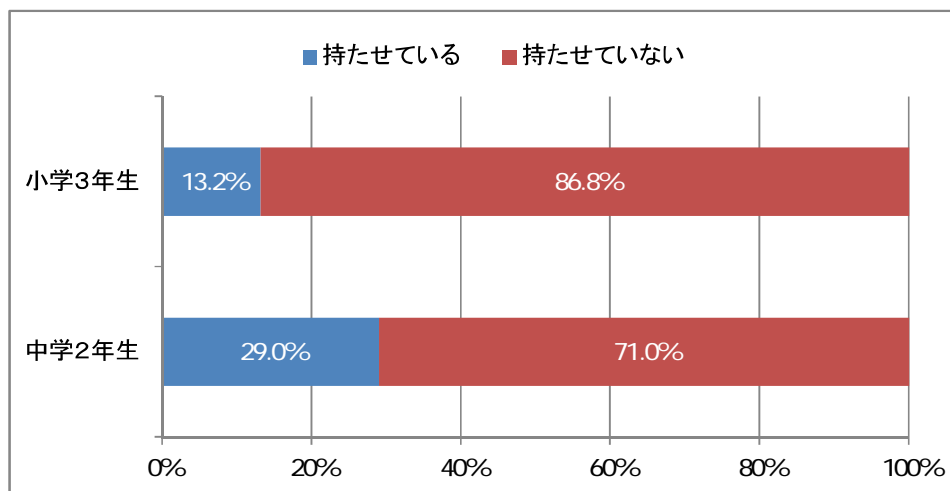
家の手伝いは、小学3年生・中学2年生ともによくしているようだ。  
中学2年生になると、小学3年生の時の倍以上が手伝いをしなくなる。

## お子さんの言葉づかいはどうですか



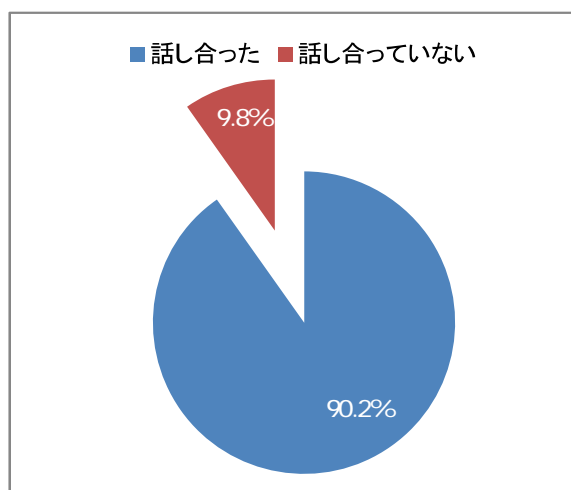
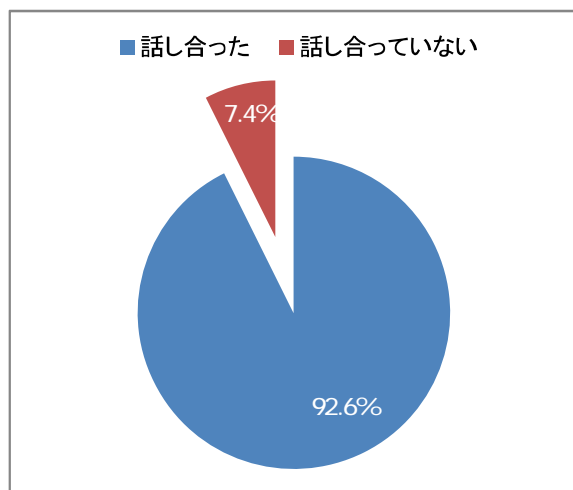
きちんとしていると思うと答えた人が、小学3年生で約12%、中学2年生で約16%と中学2年生の方が多くなっている。  
小学3年生も中学2年生も、あまり良くないと思う割合が、きちんとしていると思う割合よりも大きい。

## お子さんに、携帯・スマートフォンを持たせていますか



携帯・スマホを持っている割合は、小学3年生で約1割。  
中学2年生になると約3倍の約30%となる。

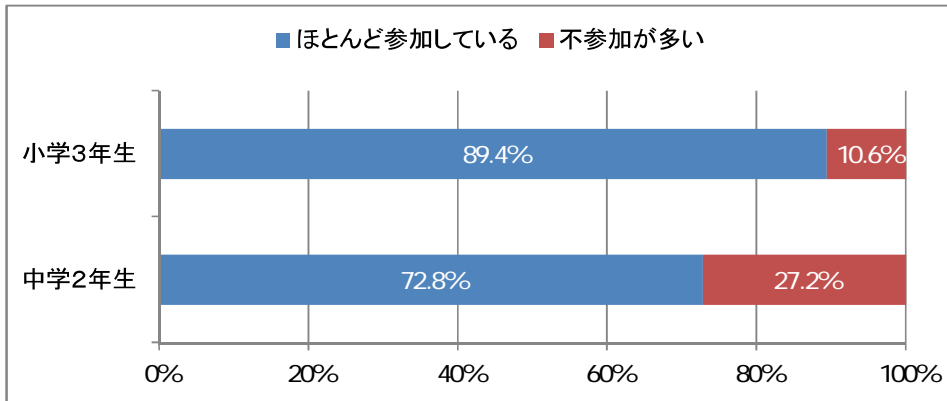
## 携帯・スマートフォンを持たせたときに使い方やルールをしっかりと話し合いましたか



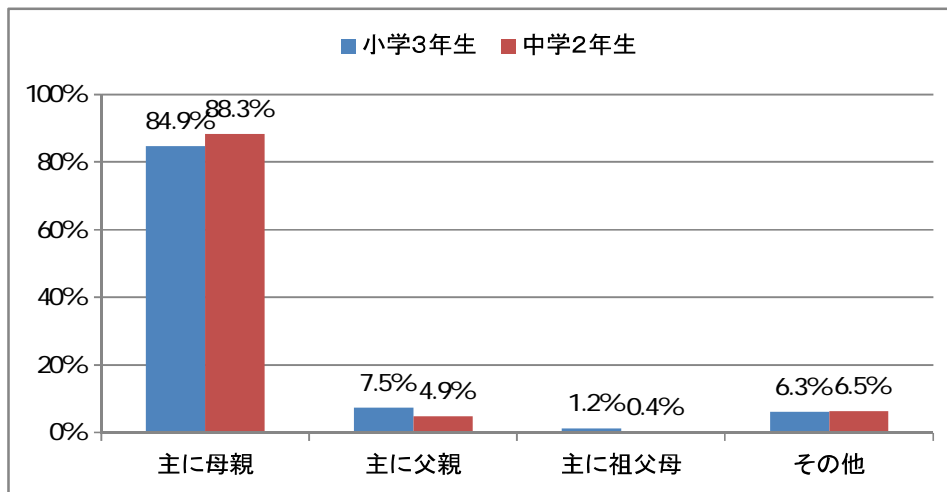
携帯・スマホの使い方やルールの話し合いをしないまま持たせた割合が10%弱となっている。

## 《社会環境について》

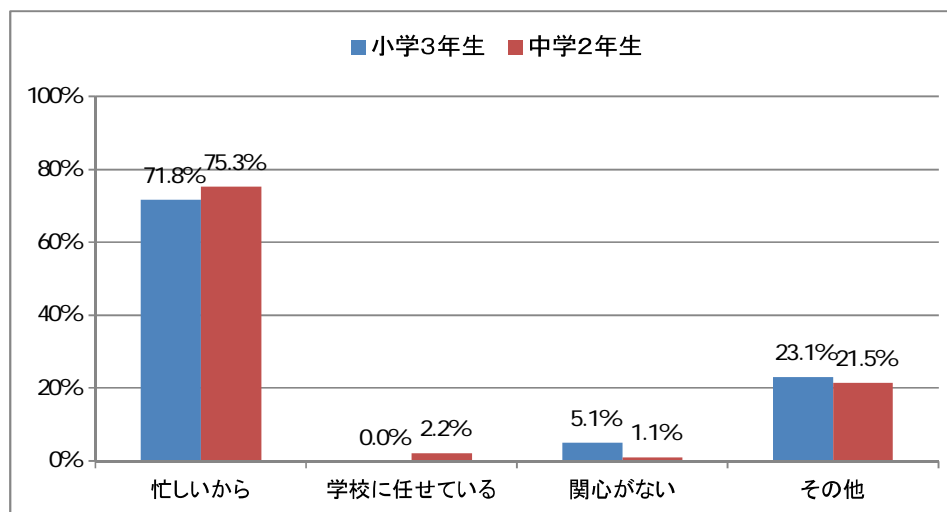
授業参観・PTA行事へは参加していますか



参加しているのは



不参加が多いのは

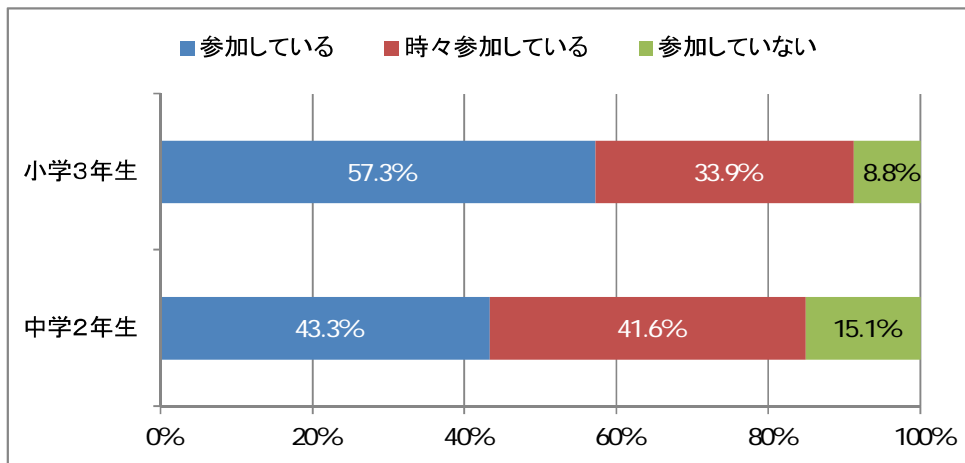


小学3年生の時は10%程度だった授業参観やPTA行事への不参加が、中学2年生になると30%弱まで増える。

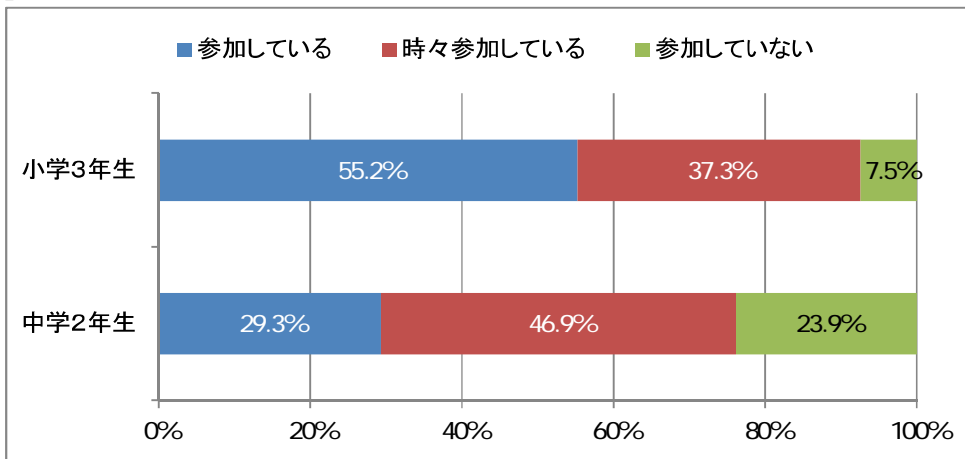
主な参加者は母親で、このアンケートの記入者の割合とほぼ同じである。

## 地域の行事へ参加していますか

【保護者】



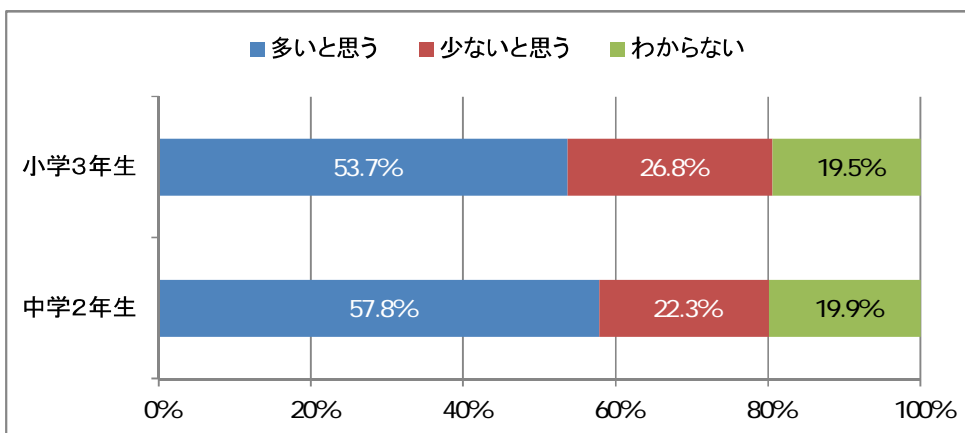
【お子さん】



地域行事への不参加が、中学2年生になると、小学3年生の時のほぼ3倍となり、参加している割合が半減する。

保護者も子どもが大きくなるにしたがって、参加率が減少傾向にある。

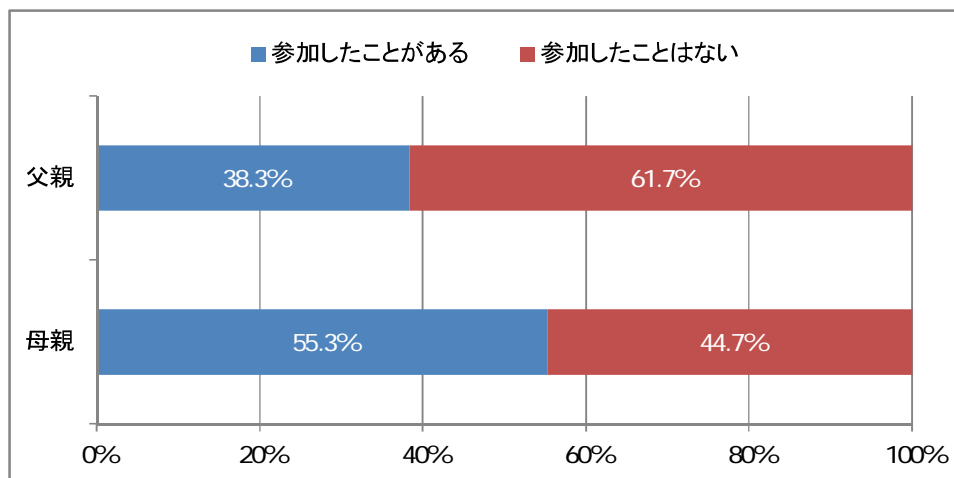
## お子さんの友だちは多いですか



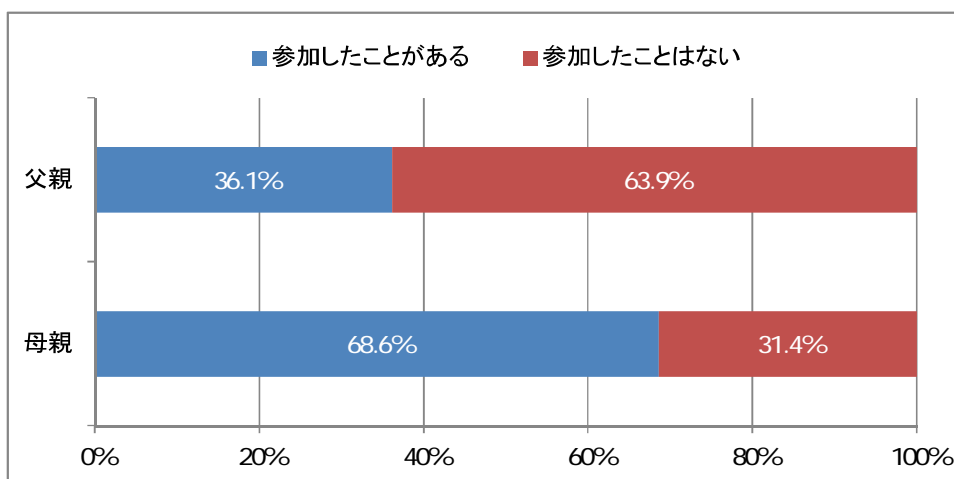
子どもの友だちが多いか少ないかわからない保護者が、小学3年生も中学2年生も約20%となっている。

## 子育てに関する講座や講演会に参加したことがありますか

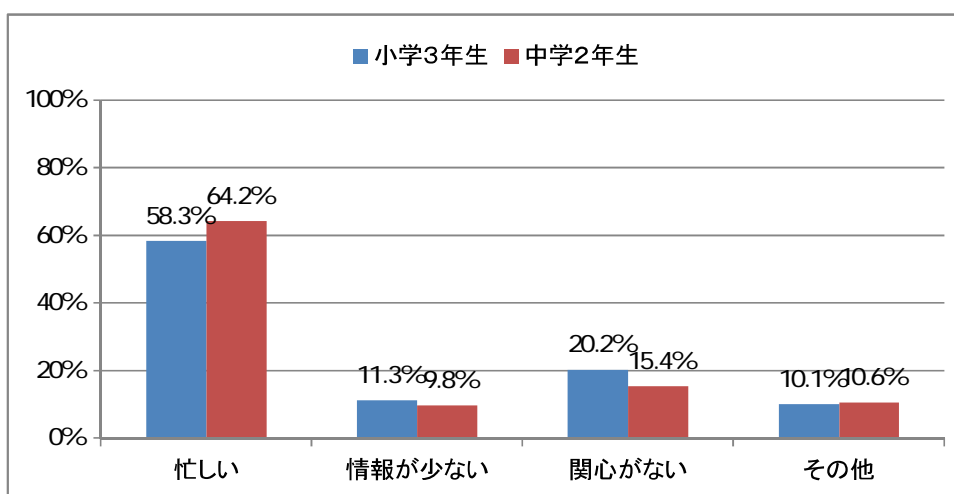
【小学校3年生】



【中学校2年生】

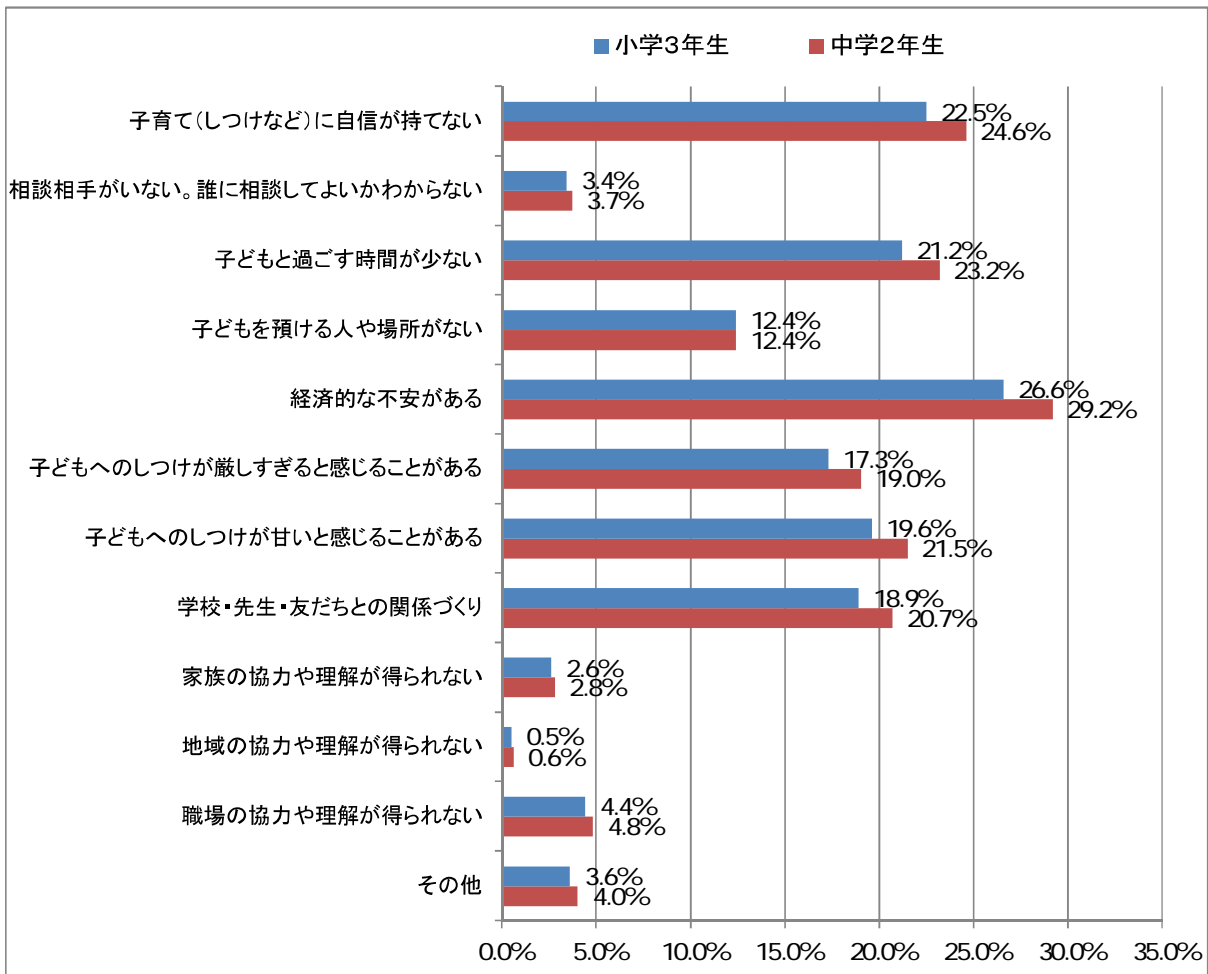


## 参加しないのは



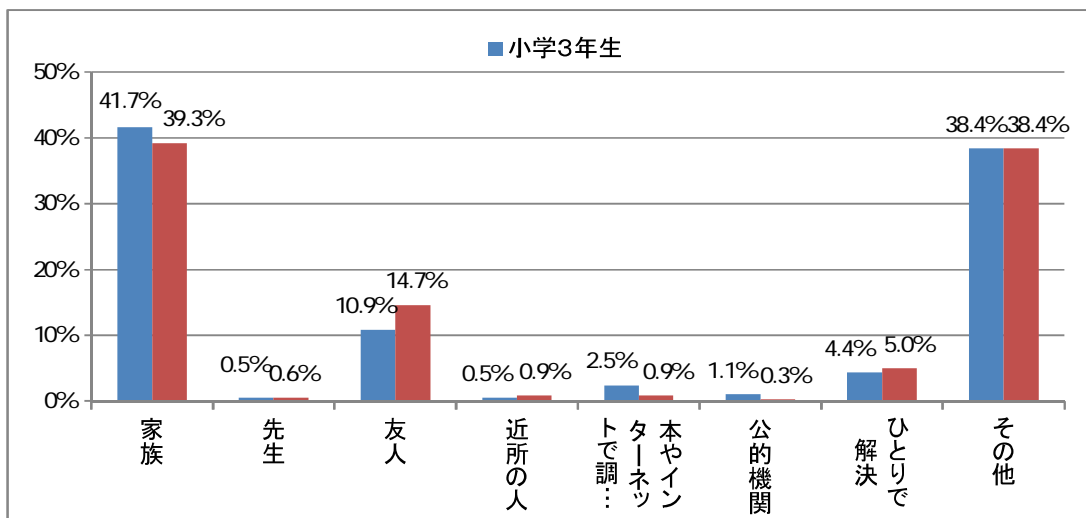
子育てに関する講座や講演会への参加は、父親が約40%で母親が60%～70%である。不参加の理由は、忙しいとの回答が半数以上を占めるが、関心がないとの答えが20%前後となっている。

## 子育てで困っていることがありますか



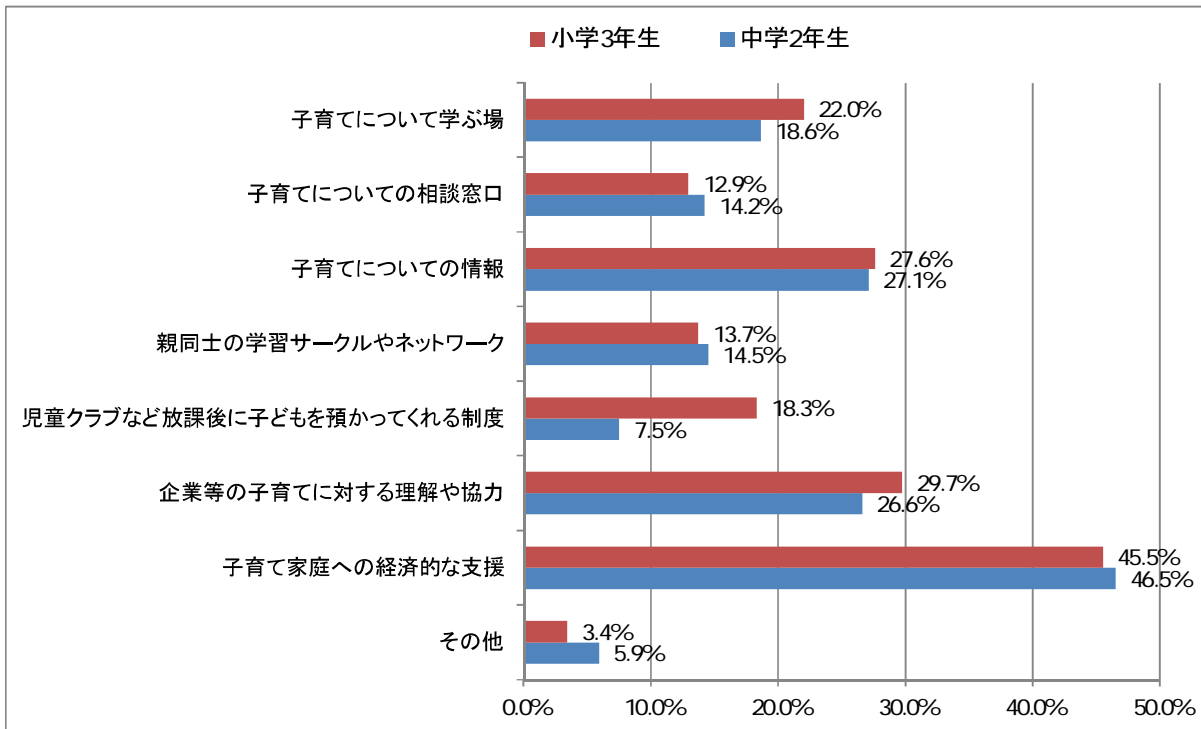
経済的な不安がある、子育て(しつけなど)に自信が持てない、子どもと過ごす時間が少ないと続くが、どの回答も小学3年生より中学2年生の方が多くなっている。

## 子育てで困ったときは、主に誰に相談していますか



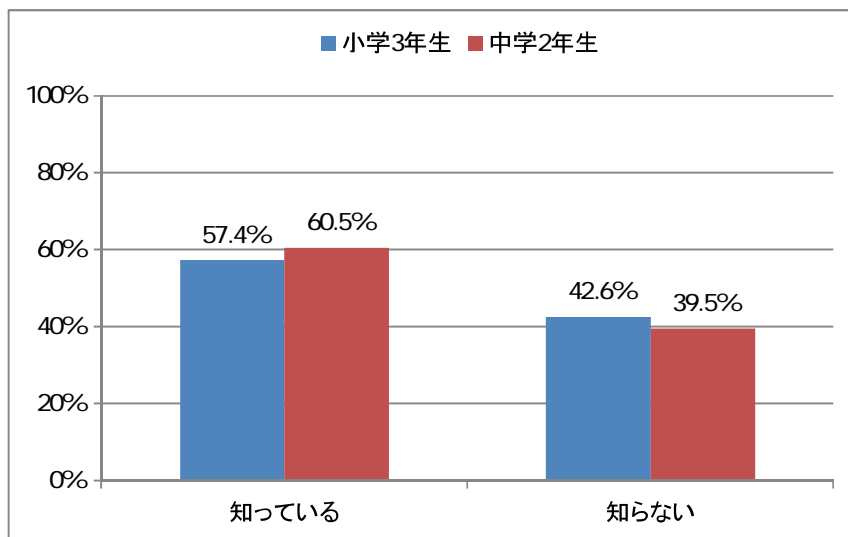
家族が約40%と最も多く、次いで友人となっている。その他とは、家族と友人など複数に渡る回答である。

## 子育てで、特に家庭教育を充実させるためにはどのようなことが必要だと思いますか



子育て家庭への経済的な支援が50%近くともっとも多い。小学3年生と中学2年生の違いで顕著なのは、児童クラブなど放課後に子どもを預かってくれる制度を望む割合である。

## 子育てを支援する制度があることを知っていますか



子育て支援の制度を約40%は知らないとしている。



## 【家庭教育に関する思い(自由記述)】 小学3年生

「子どもたちをみる」ということは大切だと思う。勉強・生活…近付き過ぎず大きく見守ることも！家庭教育、学校、地域、まとめて教育！つながってこそ家庭教育が成立するように思います。

いじめなど、いざ問題が起きた時の対処法など、親としてどうするべきか迷うことも多い。

しつけなどのお手本は基本、自分の親です。子どもも大人になり親になった時自分をお手本に子育てをしていく。それでいいと思う。

できるだけ学校であったことをお風呂や布団に入った時に話をするようにしています。今はまだ、話にくいことやケンカしたことなども話してくれますが、これから大きくなるにつれてどう変わっていくかは心配です。近くに誘い合える同級生がおらず、ひとりで友だちの家に出掛けて行くことはありません(車で送迎することはありますが)。自転車等で友だちの家に行くなど、手を離してみようかと思いつつもまだ怖くてできていません。どこまで“親といっしょ”でいいんだろうか…と考えることもあります。

とても良い子で見守っていこうと思います。

のびのびと素直に育ってほしいです。今からいろいろなことがあり成長していますが、人をいたわり今のまま素直な心を持ってほしいです。なかなか難しいことですが、そのために私は間違ったことをしないよう心掛けています。子どもの手本になれるようになりたいと思います。

パソコンやスマートフォンなどのメディアに囲まれて育つ環境の中で、家庭での使用状況を話し合うことは重要と考えます。

ひとり親家庭で近くに親せきもいないので、孤立・孤独にならないように、図書館や地域センターなどで開かれるイベントや学校区の子ども会に参加しています。親子で参加できるイベントが定期的に行われると親子共に他者(他家族)との交流が持て、情報を得る機会にもなるのでいろいろな企画を期待します。

もっとひとりずつゆっくり接する時間が毎日ほしいが、仕事・家事などの両立であつという間に夜になるのでできない。

愛情をしっかり注ぐこと。子どもの話をよく聞く。子どものことをちゃんと認める。

家で学校での出来事や友だちのことを話してくれると、子どもが人とどんなふうに接しているのか分かるので、子どもの話を聞いてやるようにしている。

家族での共有・話し合いをいつもしている。子どもへ寄り添った生活をしている。子ども中心で考え生活している。

家族みんなで過ごす時間を持つようにしている。

家族や地域など、まわりの協力が大切だと思う。

家庭では食卓を家族で囲み、今日1日にあったことを話しながらの団らんを大切にしています。それが子どもが幸せを感じる場だと思うからです。忙しいなかで子どもとふれあう時間は、密度の濃いものにしたいと思います。

家庭においては、両親の生活態度や行動、考え方が子どもたちに大きく影響してくると思われれます。親はいつも見られているということを実感し、親から正しい考え方、行動をしていくことが教育であり重要だと考えます。

家庭教育は、各家庭・個々人のものという意識・認識が職場ではとりわけ強く、かつ仕事と同じウエイトで扱ってもらえていないことが心の負担になっています。学校は、どちらも支援しようとしてくださっているのありがたいです。

過保護な家庭もあり、子ども同士・保護者同士の付き合いが難しい時代だといつも感じます。難しいです。

わが家では、ほぼ父親は地域の行事・学校の参観日・声かけ運動・学校の草取りなどに不参加のため、運動会以外はすべて母親の私が参加しています。サービス業なのを理由にしますが、女性とか男性とかは関係ないと思います。実際私も正社員で働きながら地域や学校関係を大事にしたいので、会社の協力もあり両立させています。男性に対してもっと育児に携わってほしいと感じています。女性に対しては、よく女性が働きやすい環境づくりとか、子育てしながら仕事と両立など出てきますが、男性へも同じようにできないのかと思います。男性がシングルで子どもを育てる場合もあります。いろんな方面から検討するべきだと思います。

## 【家庭教育に関する思い(自由記述)】 小学3年生

会話をすること。子どもの話をちゃんと聞いてやらないといけないと思います。
格差。教育に対する親の思いの違いが大きい。
核家族、経済、子どもたちの環境、社会などさまざまな家庭の状況があると思います。家庭教育で一番に思うことはしつけです。家庭から一步出たところで、他者と気持ちよく接したり、ルールや礼儀をわきまえた接し方のできる人になってもらいたいと思っています。学校で教えてもらうことではなく、家庭で教えて、家庭から出たところで恥ずかしくない行動ができることが大切だと思います。
核家族なので家のこともしないと…となかなか一緒に過ごす時間がないのでかわいそう。前は子どもを寝かせてから家のことをしていたが今は疲れて子どもと一緒に寝てしまうのでどうしても子どもという時に家事をすることに…。忙しいからと怒らないようにしたい。
学校であったことを聞くようにしています。子どもとの関わりを持てる時間をつくり子どもが安心できる場所を作ってやりたいと思っています。
学校での出来事はだいたい聞くようにしています。コミュニケーションをとることは大切だと思います。子どものサインを分かってやれるのは親だと思います。
学校では出来ていることが家では出来ない(例えば、服を脱いだら脱ぎっぱなし・ゲームの時間を守らない・食事の途中で転がる・宿題をなかなかやらない・だらだらするなど)。すべてに腹が立ち、ガミガミ言うが、それが正しいのか？違う言い方があるのでは？と悩んでいます。
学校では体験できないようなことを学ばせてやりたいと思います。
学校で学ぶためには、まず家庭における教育や環境が重要だと考えているので、その点を日ごろから意識して子どもと生活するようにはしています。
帰宅後子どもと接する時間が少なく子育てに不安がある。宿題や時間割は子どもが自分でしている。
近くに住んでいる祖父母の存在が大きいです。子育ての支援やしつけもしてくれて助かります。子どもにとっては同居がいいのかもしれません。
兄弟3人平等にするのが難しい。誰かを褒めれば、他がやきもちを焼く。働いているので、子どもと接する時間が少なく不安。心の穴を埋めてやれていないのでは。これ以上どうすればよいか不安。
経済的に苦しく共働きのため子どもと関わる時間が少なく、家庭での教育ができていない。忍耐・謙虚について教えていきたい。
言ったことを素直にやってくれるからといって、あれこれ口を出し過ぎているかなあと感じることもある。子どもの気持ちにすぐに反応できるように、愛情と思いやりを持って子どもと向き合っていきたいと思う。
今は働いている母親が多いので、家庭で子どもと過ごす時間が短く、教育やしつけをする時間もほとんどない状態である。そのため親もイライラすることが多く子どもとゆっくり向き合い話をするのは少ないと思う。
最近、子どもを叱れない親が増えていると思う。子どもがきちんとした人間になるためには、まず親がきちんとしなければいけないと思う。
最近子どもの生活環境は昔に比べてとても便利になりましたが、反面我慢して何かを行う経験が極端に少なくなっているのではないかと時々心配になります。
子どもが障害児であるが、相談するところがあり満足している。
子どもと過ごす時間が短いという問題はあるが、特に問題児というわけでもなく育っているので心配していません。学校に押し付けるのではなく、今後も話をする時間を多くとり育てていきたいです。
子どもにとって一番大切なのは家庭教育だと思います。学校でいくら先生がいろいろなことを教えてくださっても親がきちんと子どもに愛情を持って教えてやらないと、人としての大切なライフスキルがに身につかないと思います。

**【家庭教育に関する思い(自由記述)】 小学3年生**

<p>子どもにはいろいろと体験してほしいので、興味を持たないかと話をしますがなかなか難しい。人に押し付けられるのではなく、自らやって成功も失敗もたくさん経験してほしいと思っています。</p>
<p>子どもの環境が、自分たちの頃とはずいぶん違い、人との関わりや物事の考え方など、親の考え方だけが正しいかどうか悩むこともある。</p>
<p>子どもの観察を行い、子どもが苦手なところをフォローしていくことが必要だと感じています。</p>
<p>子どもの教育は、親が全面的に責任を持つべきです。学校は、預けてしまうという感覚ではなく、勉強を教えってもらう場ぐらいの意識であれば、今のように子どもをいろいろな所に投げっぱなしという親は減るのではないのでしょうか。親の意識を変えていくべきだと思います。</p>
<p>子どもの言葉づかいが悪く今後心配です。</p>
<p>子どもへのしつけだけが教育ではないと思う。子どもと接する時間や、親が話を聞いてあげられる時間もほしい。働くのも大事だけど、経済的な支援をもう少ししてもらって、働いている時間が子どもに接する時間変わっていかればいいなあと思う。母親が働き過ぎて、どうやって子どもに接していいかわからなくなっているような気がする。</p>
<p>子どもも外で頑張っているので、家ではリラックスできる環境づくりに努めています。難しいことはしてやれないけど、話を聞いてやり大切に思っていることは本人にちゃんと伝えるなど、人として当たり前のことを教えてやれるのは家庭かなと思っています。</p>
<p>子どもを育てている親の方に教育が必要な場合があると思います。</p>
<p>子育ての方針や方向性などを常に夫と話し合っていて決めています。それらを踏まえて子どもとのコミュニケーションを取っています。</p>
<p>子育てはマニュアル通りにはいきません。子どもが3人いればそれぞれ言い方も違います。子どもの友達が遊びにきているのを知らない親がほとんどで家庭でいい事も悪い事も話ができる環境、話を聞いてあげる親の準備が必要なのではないかと思っています。ゲームをしているから良い子でおとなしいでは違うと思うので親と子の向き合う時間を作る事が家庭教育なのでは？</p>
<p>子育ては手探りなので、自分で人間関係を作って、いろいろ教えてもらったり、共感したりが必要だと思う。悩んでいる人は孤独になりやすいので、こんな制度があるよとか学校で知れるようにしたり話せる場所があるといいなあと思う。</p>
<p>子育てで自分も成長している気がする。親子とも恥ずかしくないような人になれば。</p>
<p>子ども(支援学級)に学習他どこまで求めていいのかわからない。社会で生きる力を身に付けるにはどうしたらよいか教えてほしい。</p>
<p>時々先輩のお母さんと話をすると「大丈夫」と言ってもらえ安心しますが、最近のニュースなどで未成年の犯罪などを見ると育て方がどうかと心配になります。</p>
<p>自己表現できる環境づくり。短時間でも一緒に何かに取り組めるように意識し実行している。</p>
<p>自分でやってみよう！と思える子に成長してほしい。相談したいことがあれば親や兄に何でも言ってほしい。</p>
<p>自分の子どもも習い事に行っているが塾や習い事が子どもにストレスを与えるという記事を見た。気になる。他の家庭の情報がほしい。</p>
<p>自分も病気がちで、子育てと老人介護を同時にしており心細い。心を豊かにする子育てをしている</p>
<p>自分自身が「かぎっ子」だったので、本人やきょうだいとの判断や意欲に任せているのが現状だが、それでもよいと感じている。</p>
<p>自立した人間になってほしいと願っています。そのために…と日々接しています。</p>
<p>主人も子育てに参加しているので、子育てをひとりでやっているという感じはないですが、子育てに関してもっと勉強する場がほしいと思う。</p>

【家庭教育に関する思い(自由記述)】 小学3年生

宿題以外ほとんど勉強することが今はないですが、さっさと終わらせて、トランプとか家族みんなで話をしながら楽しむことも大事かと思っています。
小さい頃からしつけや礼儀、マナーなど理解できることはしっかり教えていくことが大切だと思います。子どもとしっかり関わる時間を設けることも大切だと思います。親子が何でも言い合える環境づくりが必要だと思います。
親がまず手本となること。子どもを正しく導ける親になることが先決。
親が子どもに強制してはいけないと思う。子どもが自分でしなくてはいけないと思うときにさせてやる。
親が子どもころと今の環境とがまったくと言っていいほど違うように思います。私たちが子どもころは、周囲がいい意味でのんびりしていたが、今は子どもも含めて時間に追われ、子どもたちとゆっくり関わる事ができていないと思います。
親に余裕なくば家庭教育の充実は無理。社会全体で子育てを大切にしようという風土にならなければ、行政が制度を作っても使えないなどの状況が続く少子化が解消するわけがない。
親の思いを押し付けず、子どもの思いを優先してやりたい。間違っただけは間違っているとしっかりと教える。
親子参加型イベント情報がほしいです。子どもと過ごす時間を大切にしたいので、楽しく勉強になるイベントなど、市の企画があればぜひ参加したいです。
親自身がもつとがんばる必要がある。他機関や行政ばかりに頼ってはいけない。
親自身も共働き家庭で育ち、勉強のことくらいしか親に言われなかった。それが嫌だったとは思わなかった為、子どもに勉強のことに中心に話すことが多いが、心が育つ子にはならないと思う。だが、実際家事仕事と忙しくきちんとした家庭教育が実践できていない。子どもも学校からの帰りが遅く、帰っても宿題してご飯を食べて寝るくらい時間しかないので話す時間もそんなに取れないのが現状。
人とコミュニケーションをとる力・感謝する気持ち・困った時にどうするかを考える力など、今何をするのかを自分で判断し、たくさんの経験をして、人の気持ちのわかる強く優しい人になってもらいたい。
人としての基本的なところ、例えばマナーやルール・挨拶などは家庭での教育が基本になると思うので、つい厳しく言ってしまう。両親ともに言ってしまうので、子どもにとって窮屈なのではないかと心配になることがある。難しい。
人に嫌な思いをさせないようにしつけをしていくようにしています。子どもに好きなことを選ばせ、習い事をさせるようにしています。
孫に対する教育は、両親より甘くなりますので、厳しくしなければと思いつつもできません。孫は生後6か月から育てていますが成長するにつれだんだん祖父母から遠ざかっていくように感じています。両親の代わりはできないものだと思います。
登下校の時などの子どもの安全について、保護者がいつも見守ることが難しいので、不審者や事故などが起きないかという心配がある。
当たり前のことが当たり前でできる子になってほしいので、日々接していくなかで話をしています。人の痛みの分かる思いやりのある子に育ててほしいと思っています。
働かなければ子育てに余裕ができないし安心もできません。でもそのために、子どもだけで留守番をさせるということも多いですし、じっくり話を聞いてやることもできず、それどころか、ついイライラしてあつたり…ということもあり反省の毎日です。母親の職場での勤務体制がもっと子育てしやすい環境になればいいと思います。
発達障害児にどう教育すればよいか時々考えます。学校のサポートがないと難しいです。
勉強に関してはそれほど言いませんが、生活・言葉・態度については厳しく言うようにしています。なぜそれがいけないのか、注意されるのかを説明も加えて言うようにしていますが、本人の納得ができないときははぶて話を聞くのも嫌になっている時があり、つい親も一方的に言ってしまうところもあります。

## 【家庭教育に関する思い(自由記述)】 小学3年生

勉強も大事ですがうちではスポーツもさせています。人との関わりや行動力などを学ぶ事ができるからです。とても一生懸命取り組んでいます。しかし人数が少ない学校なので中学へ行ってもその部ができるか心配です。スポーツにも力を入れてもらいたいです。それが理由で転校する子もいます。それでどんどん少なくなっていくのは問題だと思っていて心配です。生徒減少をくいとめる策をお願いしたいです。

勉強も大切ですが、まず人として大切なことをしっかり学び成長してほしいと思います。

勉強も遊びも親の経験を教え、子どもの話を聞き早く精神的な自立ができるように導きたいと考える。

母子家庭だが子どもたちに寂しさを感じさせないようにしている。

毎日大変。子どものやっていること責任は親にあると思ってがんばるしかない。

夜9時ぐらいには寝かせているので、仕事から帰って家事などしていると子どもの勉強とかに関わってあげる時間がないのが心配。唯一ゆっくりできる日曜日しか相手をしてあげられない。

両親とも仕事をしていて、父親は帰りが遅く、母親も帰りが夕方になる。母親がひとりで夕食の支度などをするが、宿題をゆっくり見てやれてないなと思うときがあります。もう少し、自分にもゆとりを持てると子どもにも、もう少し目を向けられるかなと思います。

【家庭教育に関する思い(自由記述)】 中学2年生
家庭教育は、善悪をしっかり教えること、そして、善悪の判断がきちんとでき、自分も他人の命も大切に子どもを育てることが大切だと思っています。
昔は家庭でしていた部分を学校教育に頼りすぎている。親自身が家庭教育について学ばなければいけないし、学ぼうという姿勢を持つことがまず第一歩だと思う。
三次市は何を支援しているのか？わかりません！！
子どもそれぞれで性格が違うので、接し方関わり方が違ってくるところが難しいと思います。でもしつけ等注意すべきこと教えることはしっかりと伝えているつもりですが、それがちゃんとできていたかどうかというのは子どもが自立してわかることかもしれないと思っています。
今、反抗期で親の思いをなかなか受け取ろうとしない。
人を育てることにつづく難しいことだと思います。自分もそんなに立派ではないと感じている分、正しく教えてやれているか不安ばかりです。
夜も仕事でいないので、帰るまで一人での留守番です。本人は大丈夫と強気ですが淋しい気持ちが伝わってきます。収入が少ない為我慢させている心配もあります。家庭での教育が十分できない現実ですが会話などその日その日の出来事などを互いに言ったりしています。
娘が学校でのことを一切話そうとしない。
子どもへのしつけは自分の体験や母親、祖母から教わったことを子どもへ教えているがそれが正しいかは今は判断できない。規則正しい生活は行っていると思います。
子どもという時間を大切にしています。特に話をするわけでもなく同じ空間にいただけでもよいと思います。子どもが話したいと思えば話を聞いてやる。中学2年生になると親がいろいろ聞いてもめんどくさがるので、そこはほどほどにしています。子どもが進学などで家を出て行く日が来ると思うと毎日が貴重な時間です。
子どもに大切に思っているという愛情表現をするように心がけています。愛されているという自信が子どもの力を伸ばすと思います。
家族が仲が良いことが一番だと思う！
子育てを支援する制度があることは聞いた事があるがどんなものかはわからない。
子どもを産んで今まで悩みながら一生懸命育てていますが家族、保育所、学校の先生、保護者の皆様、地域の皆様、実父母、祖父母等みんなに助けられて何とか子育てしています。講演会や子育て資料等の配布、病院(小児科)の先生のアドバイスでも何度も助けられています。子育てしていると悩んだり落ちこんだりパニックになったりいろんなことがあります。皆様に支えられてきたことに感謝している毎日です。今後もたくさんお世話になりますがまわりの支えが子育てをしている親にとってはとても心強く大事であると強く感じています。まわりのサポートが家庭教育でとてもありがたいと感じます。
子育てで家庭教育(しつけ)をするのはとても難しいと感じる。子どもをしつける前に、自分自身がもっと強く、成長しないといけないのではないかと反省しています。
学校の先生任せにせず、しつけは家庭で教えるの当たり前。常識は幼い時より家庭で教えること。子どもは親の姿を見ているので、親がしっかりすること。しっかり子どもに向き合うこと。
しつけはとても難しい。落ち着いてこうこうだからいけないと言っておれない。結局「だめよ」で終わる。最近は「良いじゃん」で終わる。
親に心の余裕が無く、家庭を円満に運営することは難しい。余裕が生まれる様、いろんなところから、サポートが必要かと。親同士の繋がりが持てることも必要。
子どもが将来、自立していけるよう沢山話をして丈夫な体と、知恵を身につけるよう育てる努力をしています。
会話は大切。特に聞くこと。子どもは自分勝手に自分に有利に話していくので、少しは注意するが、なるべく、同じ立場になることを心がける。聞いてあげるだけで不満だったことも、話すことで、すっきりすることが多い。翌日学校へ持ち込まないようにしてあげたい。

【家庭教育に関する思い(自由記述)】 中学2年生
子育ての方針・方向性を主人と常に話し合っていて決めています。それらを踏まえて子どもとのコミュニケーションを取っています。
子どもの反抗期の対応の仕方が難しく、カッと来る。仕事のストレスや、家庭(子どもとの対応)でイライラしているのに自信をなくし自分を責める毎日です。子どもが言う事を聞かなかつたり、言葉使いの悪さでまた、祖母から注意を受ける毎日で、辛く感じる日々です。
高校生になると親の話、意見はなかなか聞いてくれなくなるので、今が大事。中学生のうちに親として伝えられる事は、沢山あると思う。日々忙しくて、ゆっくり話ができないけどタイミングが合えば、努力して関わろうと思います。今の子どもはやる事が多すぎてかわいそうに思う事がある。
田舎では特に嫁、姑の課題がある。同居を余儀なくされているが、よりよい関係を築く事は容易ではない。言う事が悪い。【家の事を云うものでない】と考えている為、自分の古い考えに執着している。もっとオープンにして、多くの人の話を聞いて、参考にしたり出来ないものではないでしょうか。家庭内の仲が良いのが一番の家庭教育かと思います。
子どもは今のことで精一杯頑張っているが、親は将来のことでたくさんの不安を抱えている。子どもに話しても、お互いの気持ちが違うので平行線のままです。学年が上がるたびに不安が増し、安気ではられないのが現状です。親としてのアドバイスといっても、きちんとしたことが言えているのか分かりません。もっと子どもたちにこれからのことなどを教えていただけるチャンスがあればと思います。
子どもが育っていく上で一番基礎になるのは家庭での教育だと思っている。他の機関(保育所・幼稚園・小学校・中学校など)に責任を負わせようとする保護者が多すぎると思う。
いろいろと難しい年頃なので、子どもとの距離をどう取っているのかわからない時がしばしばある。特に男の子は父親に対する態度と母親に対する態度が違うように思う。かわいいなあと思う時もあり、憎たらしい時もある。
話をよく聞くことが大事だと思います。
食事のマナーや身の回りなどの生活習慣について、毎日同じことの繰り返しで、注意しても直らない。祖父母はそのうち直ると言うが、人前で傷つく前にきちんとできるようにさせたいと厳しく接してしまう自分が嫌になる時があります。
やりたい思いはあっても、仕事との両立が難しく、結局仕事を優先させてしまいます。
私の家庭では、スキンシップを多くしているとは思いますが、最近の家庭は、習い事などで時間がないので、会話がなと思います。もっと家族との時間が増えると温かい思いやりのある子どもが増えると思います。
私の帰りが仕事で遅いので、子どもたちの生活リズムが夜型になっている。もう今さら立て直せない。
成長過程においてはいろいろなことがあります。子どもが社会に出た時に困らないように、というよりむしろ輝けるように育てているつもりです。中2の女子として身の回りを整える・三度の食の大切さなどは常に話しています。朝は自分で起きるという習慣がだいぶ身につきましたが、時々声を掛けます。朝、自分で起きるということは、自立の第一歩だと思います。
これが正解ということがないので、家族で話したり出掛けたりしてふれあいを大切にしている。
親子のコミュニケーション(声かけ)。学校行事や役員・委員を引き受けて子どもたちの様子を見る。
家庭教育をする時間も取りながら、親子間の会話や手伝いも楽しめるようにバランスをとるよう心がけている。
自立すること。相手を思いやることを中心に教育する。
家族の一員として、家庭での自分の役割を決めている。
アスペルガー症候群のような特性のある子どもと、どのように向き合っていけばいいのか試行錯誤しながらやっています。他の保護者の理解が得られるともっと楽なのかなあと思うことが時々あります。
共働きのため帰宅が遅く、平日は同じ時間を過ごすことが少ないため、親としていろいろ不安がある。

【家庭教育に関する思い(自由記述)】 中学2年生
勉強をがんばっているのは良いことだと思いますが、人間としてやっていいことと悪いことをきちんと教えていないと最近感じるがありました。もっともっと小さい頃から、正しいことを教えていればと後悔しています。この先が少し心配です。
進学について、どういう道へ導いてあげたり、教えてあげたり(いろいろな職業について)すればよいか悩みます。
子どものために働いて収入を得ているが、夜勤などがあり、夜、家を留守にする不安が多々ある。母子家庭であっても甘えたくないが、収入があるということで手当てが満額支給されないのが不幸だと思うときもある。ただ、三次市の福祉には恵まれている。中学卒業まで、医療費500円は非常に助かっている。
話のできる人がいない人には、大変な時があると思います。
子どもと共通の趣味などがあることで、一緒に何かすることが、ひとつの家庭教育だと思います。また、祖父母の存在が子どもたちの逃げ場になっていることが大きいと思います。
物事の善悪はしっかり教え、親として子どもを叱る時は必ず、本人がなぜそうしたのかを尋ね、叱る理由を教えるようにしている。親として接したり、また友だちとして接することもあり、親子で何でも(世間話からお互いの日常のできごとなど)話ができる環境を理想としている。
基本は家庭なので「しつけ」などは家庭ですべきだと考えている。
子どもとの対話を大切にしたい。興味を持っていることはダメだと言わず体験させたい。
子育て支援といっても本当に必要なのは、親が親として子どもに関われる時間を確保することが重要だと思うが、今の支援は、親が仕事をうまくやりきれるような支援の方が充実されている。この支援は、子どもの立場に立った支援ではない。子ども目線で考えられる支援が必要だと思う。
社会生活を送るための基礎づくり。今となっては…と、しつけのうえでも後悔することもあります。愛情を持って接していく心がけています。思春期はなかなか難しく話し合うことが出来ていません。家庭でゆっくり過ごせる時間が必要と感じています。
子育ては一人でできるものではないので家族や支援していただける機関や制度を利用したりする事が大切だと思う。共働きや核家族が多いので子どもも親も話せる場所が必要に思うので…。どんどん安心して利用できる所をひらいてほしいと願います。
サークルだったり、学校だったり、途中転入学の親としてはなかなか入っていけないことが多い為(すでに仲の良いグループができあがっていたりする)そういう人たちにどうしたらよいかかわからない。”お気楽に～”とはうたっていても孤立したまんまのことがほとんどなので。
子どもが成人するときに、また、大人になった時のいつかの時点で家庭の中でのさまざまなしつけを思い出してくれ、それが良かったと感じれるような生活を送りたいと思います。また、次に生まれる時代の子どもへ教えられるよう心がけていきたいです。
今困っていることはない。子どもが帰ってからずっと一日の出来事を話してくれる。このままの関係が続けばいいと思っています。
保育所の頃から先生・支援センター、今はスクールカウンセラーの先生に助けをいただきながら、子育てをしてきました。思い切って相談するのが一番だと思います。
中学2年生は体は大人に近づいているが心はまだ子どもで難しい時期です。本人のやる気がなく、うるさく言えば、反発します。親として育てる責任があると思うので、やれる事はしてやりたい気持ちですが、人にはなかなか伝わらないのが現状です。相談窓口もあります(利用しました)しかし、相談するまで勇気がいりました。もっと、気軽に話せるようなものであれば、親の悩みも少しは気が楽になるのではと思います。
子どもの立場(目線に立つ) 親の思いは最後に話す(先に子どもの気持ちをしっかり聞く)。
わが家は父親が亡くなり母である私が主に教育に関わっています。上の子は女の子でしたが、中2の子は男の子なので時々このままで大丈夫か不安な事があります。学校でいじめられていないか？いじめていないか？高校進学について…不安がいっぱいです。また、祖父母の介護のために子どもたちに不便をかけていると思います。



【家庭教育に関する思い(自由記述)】 中学2年生
<p>仕事が忙しくしつけがなかなか出来ない。仕事と家庭の両立でいっぱい子供まで手が回らず話もあり聞いてやれない事がある。</p>
<p>共働き家庭が多い中で、子どもと向き合う時間が子どもが大きくなればなるほど減ってくると思います。特に中学生という時期は子どもには変化のある年頃なので向き合う時間がないと見逃してしまうことも多い気がします。職場が理解あるとその時間も作りやすい気がします。基本的なしつけは日々の積み重ねだと思います。</p>
<p>親が子どもたちの手本となるよう自覚することが一番の家庭教育だと思う。</p>
<p>中2の時期は子育てで困るといふか反抗期のため子どもとの距離や対応に戸惑うことが多いのではと思います。質問16の項目が中2の子ども像と何となく結びつかないような気がして…(○印が1個になってしまったかも…)子どもの反抗に関する項目があったほうがいいのかでは。</p>
<p>ラインやインターネットにより子どもが誰とつながっているか把握できずトラブルに巻き込まれないか心配である。しかし、大半の中学生が当たり前のようにスマホ等を持っており切り離せないのが現状である。</p>
<p>他人(周りの人達)に迷惑をかけないような人に育てて欲しいという思いで育ててきました。最低限の常識は教えているつもりです。それと、自分の身は自分できちんと守れること、自分自身を好きでいられることをいつも話しています。自分も他人も傷つけることは絶対にだめです。</p>
<p>父親は仕事が忙しく、なかなか子どもの現状がわかっていない。母親からの情報でしか得られないので、もっと職場の休みやすい環境作りとか企業は考えてほしい。母親の負担ばかり。</p>
<p>「勉強しなさい」と言いたくありません。が、まだ人生経験のない子どもです。どのように将来を決めるのか、その為に何が必要か?という事は家族でもよく話をしています。親は応援する事しか出来ないという話もしています。今の所、目標を持って進んで勉強しています。このまま育ててほしいものです。学校内で携帯を持っている子どもも多いですがそれを改善してほしいと思います。</p>
<p>夕食時には、話が聞ける環境をつくり、子どもとのコミュニケーションを大切にしている。</p>
<p>自分の事は自分でする様に!</p>
<p>ゆとりを持った仕事をしていないと、子どもとの会話をする時間が(毎日持ちたいが)持てず、全てが子どもまかせになる事が多い。もちろん勉強など、自分ですべきだが、様子など把握し、声かけぐらいいは(子どもの姿がわかった上で)していきたい。「一緒に過ごす」時間がとても大切だと思っているので、何かをしても同じ部屋で過ごすよう心掛けている。</p>
<p>その子の将来を考えた時、何が一番大切かといつも考え、出る答えは、人とのつながりを持てるコミュニケーション能力だという事。どんな環境におかれても生きていける強い心と健康な身体だという事。学力よりもそちらに意識を持って子育てしているが、本当にそれで良いのか、いつも思い悩むところです。</p>
<p>携帯・スマホ等を保護者として子どもに持たせてもいいのかと、日々悩んでいます。持たせていない為にどんなデメリットがあるか…</p>
<p>家族内でのおしゃべりを大事にしたいと思っています。先輩、お母さん、お父さんの経験談を聞く機会または情報があると助かります。</p>
<p>一人親で悩む事もたくさんあるが、親も子どもも親族や友人に支えられ、なんとかやってこれていると感じる。学校でトラブルがあっても、先生方がしっかり関わってくださり解決していただいていると思います。</p>
<p>中学生になるとむずかしい。本人にまかせていることが多い、まだ自覚していない面も多々あり、どこまで親がしてやるべきか考える。</p>
<p>本来は専業主婦かパートで子どもとの時間をもちたいと思うが、現実はそのとはいかず、仕事優先になってしまい、過ぎてしまった時間は後悔ばかりです。仕事も楽になりたいが、管理職という立場もあり悩んでいるところです。子どもに規則正しい学習リズムをつくってやりたいが、帰ったら思うように過ごす子どもに口やかましく言ってケンカになる事ばかりです。</p>

【家庭教育に関する思い(自由記述)】 中学2年生
時間を決めて、ゲームをするように言っているけれど、やり出すとなかなかやめてくれず、勉強にとりかかる時間が遅くなり、睡眠時間にも影響し、朝が起きれない日がよくあるので、生活のリズムを変えていける様に親子で努力して話し合いサポートしていきたいと思っています。
いろんな人との交流を通して、子育てに対しての考え方や取り組み方の幅を広げるようにしている。
子どもが反抗期に入っているせいか、言う言葉などが、乱暴な気がします。学校ではちゃんとやっているのだろうかと思う。
外遊び、読書は昔から大切。ノーテレビデー。ノーパソコンデー。ノースマホデーそんな日があってもいいと思う。
両親共働きだったため小学校の時、児童クラブを利用していました。3年生までしか利用することができなかったため、6年生まで利用できればいいと、いつも思っていました。
情報が少ないと思います。
学校の先生だけに任せてよいものではない。父、母の意見、思いが一緒でないと特に価値観など、子どもの育て方はうまくいかないように思う。
大変失礼とは存じますが、社会教育委員の方々が日ごろのような活動をされ、ご尽力くださっているのか存じません。もっと活動をアピールされてはいかがでしょうか。
大人になったら家を出て自活してほしい。そのためには、基本的な生活習慣や家事、人とのつきあいなど学ぶべきことがたくさんあるが・・・あと子どもにいろんな力をつけたい。
反抗期を迎え、どう接してよいのか分からない時があります。言えば反抗、言わなければやらない・・・特に男の子は難しいです。
親が子どもの手本となるよう自覚し、行動することまた話をするのが大切と思う。共働きや残業が男女ともに多くあり、家庭にいる時間や子どもと接する時間の減少により、仕事と子育てを両立したくても思うようにできないジレンマがある。パートに変われば時間は作れるが、そうすると経済面が心配になる。家庭での教育がおろそかになっている。親が親らしくないと最近感じる。
親同士の交流が少ない。かたよった考え方をする親に意見したいが、よそごとと言いついて聞かされて(我慢)知らん顔している(私)。友達関係や人間関係のつきあい方をわかってない親が、子どもを育てるから、同じような考え方をした、つきあい方のヘタな子には、情けないと思う。
今は情報過多で子育てに(自分もそうだが・・・)熱心すぎたり、逆にほったらかしたり、極端な気がします。上の子が大きくなった今では、温かさ4、クールさ6ぐらいの方が、子どもはよく育つ気がします。(自分は過干渉ぎみだったので・・・)。早い時期に、そういった子育ての本当の事が知りたかった・・・と今となっては感じます。
子どもとしっかりと向き合い、受け止めたり、見つめる事が大事だと思いますが、1人で育てていかななくてはならなくなった今、日常生活、仕事を理由にしているのかな・・・? なかなかしっかり関わっていないような気がします。
いけない事は、いけないと叱り、よい事をした時はしっかりほめる。親が子どもに遠慮しない、顔をうかがって、ものを言わない。これらのことを親がしっかりとし、子どもの手本になるような行動をとれる大人でありたいです。
私は、何かの役をする事はとても苦手でした、しかし父親も母親もそれぞれ地域や子どもの事で役を引き受け、役割の仕事を生懸命やっている姿を見て、自分達もがんばらないと・・・とってくれたみたいです。そして共通の話題も増え、親子で共感できる事があるというのは良い事だと思います。
主人が教育には『熱心』なので、子どもと主人と私で、まじめに『将来』の話をすることがあります。たぶん、他の家庭では、こんなことないのかなと思います。会社でいうところの会議のようにしています。

## (2) 集計結果から考えられる問題点

### 1. 家庭環境 (アンケート問1～問4)

#### 子どもを取り巻く家族構成

- ・家族の人数や形態別による課題
- ・ひとり親家庭の現状
- ・核家族化や少子化の進行

### 2. 生活環境 (アンケート問5～問11)

#### 保護者の規範意識とモラル

- ・保護者の意識改革が必要
- ・祖父母世代の子どもへの関わり
- ・会話のある家庭環境
- ・過保護や過干渉、放任
- ・携帯電話、スマートフォンの家庭でのルールづくり
- ・経済的不安

### 3. 社会環境 (アンケート問12～問17)

#### 地域の一員としての在り方

- ・小学生の子ども会を含む地域行事への参加
- ・地域で子どもたちへの声掛け
- ・企業、職場の子育てに対する理解を求める

### 4. 行政との関わり (アンケート問18・問19)

#### 社会全体での支援

- ・家庭生活支援の充実
- ・行政サービスの情報発信
- ・情報収集する市民の姿勢
- ・家庭教育推進運動の働きかけ

### (3) 家庭教育に関するアンケート調査票

#### アンケートの趣旨とご協力をお願い

日ごろから、社会教育委員の活動につきましては、ご理解と協力をいただきありがとうございます。私たち社会教育委員は、家庭教育に関しての調査研究を行い、教育委員会に対して、家庭教育支援についての提言を行うこととしています。

このアンケートは、お子さんを取りまく環境を知り、健やかなお子さんの成長のための支援へつなげることを目的として、小学3年生と中学2年生の保護者を対象に行うものです。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

平成27年1月 三次市社会教育委員

#### ご記入にあたってのお願い

1. 記入は保護者のどなたかがしてください。
2. このアンケート結果は、統計的に処理いたしますので、個人的にご迷惑をお掛けすることはありません。
3. 回答は、あてはまる項目の番号に○印をつけてください。なお、「その他」を選ばれた場合は（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. 記入が終わりましたら、**1月30日(金)まで**に学校へ届くようにお子さんにお渡しください。

◆お答えいただくにあたって、ご不明な点やアンケート調査についてのお問い合わせはこちらまでお願いいたします。

三次市教育委員会事務局 社会教育課 文化スポーツ係  
TEL (0824) 62-6182 FAX (0824) 64-0067  
メールアドレス [shakai@city.miyoshi.hiroshima.jp](mailto:shakai@city.miyoshi.hiroshima.jp)

質問 1. お子さんからみたあなた（記入者）の続柄をお答えください。

1. 父親      2. 母親      3. 祖父      4. 祖母      5. その他（      ）

質問 2. 同居している家族の人数をお答えください（あなたとお子さんを含めて）。

1. 2人      2. 3人      3. 4人      4. 5人      5. 6人以上

質問 3. お子さんの人数をお答えください。

1. 1人      2. 2人      3. 3人      4. 4人      5. 5人以上

質問 4. 祖父母と同居していますか？

1. している      2. していない

質問 5. 朝、お子さんを起こしますか？

1. 自分で起きる      2. 時々起こす      3. 毎朝起こす

質問 6. あいさつをしますか？（例えば「おはよう」「おやすみなさい」など）

1. お子さんが先にする      2. 保護者が先にする  
3. 決まっていないがする      4. しない

質問 7. お子さんは、朝ごはんを食べていますか？

1. 毎日食べる      2. 時々食べる      3. 食べていない

質問 8. 家族でよく話をしますか？

1. している      2. していない

質問 9. 家の手伝いをしますか？

1. している      2. 時々している      3. していない

質問 10. 言葉づかいはどうですか？

1. きちんとしていると思う      2. まあまあだと思う      3. あまり良くないと思う

質問 1 1. お子さんは、携帯・スマートフォンを持っていますか？

1. 持っている	2. 持っていない
↓	
◇携帯・スマートフォンの使い方やルールをしっかりと話し合いましたか？	
1. 話し合った	2. 話し合っていない

質問 1 2. 授業参観・PTA行事への参加についてお答えください。

1. ほとんど参加している	2. 不参加が多い
↓	
◇参加しているのは？	◇参加できない理由は？
1. 主に母親	1. 忙しいから
2. 主に父親	2. 学校に任せている
3. 主に祖父母	3. 関心がない
4. その他 (       )	4. その他 (       )

質問 1 3. 地域の行事へ参加していますか？

<b>【保護者】</b>		
1. 参加している	2. 時々参加している	3. 参加していない

<b>【お子さん】</b>		
1. 参加している	2. 時々参加している	3. 参加していない

質問 1 4. お子さんの友だちについてお答えください。

1. 多いと思う	2. 少ないと思う	3. わからない
----------	-----------	----------

質問 1 5. 子育てに関する講座や講演会に参加したことがありますか？

1. 参加したことがある	2. 参加したことはない
↓	
◇その理由は？	
1. 忙しい	
2. 情報が少ない	
3. 関心がない	
4. その他 (       )	



## 2. 家庭の教育力向上に向けての提言

### 1. 家庭環境

#### 子どもを取り巻く家族構成

少子化・核家族化・共働き世帯の増加による家庭環境の変化、また、家族のライフスタイルの多様化が進み子育てに悩みながらもどこへも相談できず孤立する家庭が見られます。

#### ＜ 提 言 ＞

- ◇ 現状を見据えた家庭環境の改善に向けた支援
- ◇ ひとり親家庭に対して就労支援・保育支援など、必要な人に対する支援
- ◇ 孤立する家庭に、地域での家庭支援サポーター制度
- ◇ 学校支援員と協力し、気軽に相談できる場をつくることが望ましい
- ◇ I T 機能の活用による家庭との情報共有





## 2. 生活環境

### 保護者の規範意識とモラル

保護者の価値観の多様化により、規範意識や基本的な生活習慣の確立にさまざまな状況がある。

子どもの自立と自律を願いつつも、親の過保護・過干渉により、逆効果を生じる現状も見受けられる。また、子どもと関わる時間が取れないために、苦悩している保護者がいる。

#### ◀ 提言 ▶

- ◇ 保護者が学ぶ場、そして子育てのエネルギーをもらえるような場の設置
- ◇ 幼少期からの健全な生活習慣と、自立と自律に向けた取り組み
- ◇ 次世代の親になる教育を念頭に、知識や体験豊富な祖父母世代による育児支援と子育てを学ぶ実践活用など
- ◇ 多様な家族構成があるが、家庭生活を協同して行う家庭環境づくり
- ◇ わが家における家族のルールづくり

### 3. 社会環境

#### 地域社会への取り組み

各々の家庭の考え方や状況により、地域の一員としてのあり方はさまざまである。

子ども会や地域行事等への参加の有無は、人間関係の形成や地域の保安の確立など、地域の力を左右する一面も考えられる。

#### 《 提言 》

- ◇ 企業や職場などと連携した、家庭教育支援の協力体制の構築
- ◇ 地域に保護者の居場所となる拠点を設け、行事に参加しやすい環境づくり
- ◇ 子どもが社会貢献できる力の育成



## 4. 行政との関わり

### 社会全体での支援

「楽しく暮らせる三次」の実現のために、地域の団体が協力しあい、家庭における子育ての楽しさを共有できるネットワークの構築

#### ◀ 提言 ▶

- ◇子育て世代が何を求めているかの把握が必要
- ◇子育て世代への支援の更なる充実
- ◇行政からの情報発信と、情報収集する市民の姿勢
- ◇家庭教育の推進と、地域で家庭支援ができる人材の育成

### 3 . 資 料

- 三次市社会教育委員会議開催状況
- 社会教育法（抜粋）
- 三次市社会教育委員条例
- 三次市社会教育委員名簿

平成26年度 社会教育委員会議開催状況

会議名等	日時 場所	内 容	出席委員等
第1回委員会	4月23日(水) 13:30~15:40 みよしまちづくりセンター	・社会教育行政について ・社会教育委員の今期の活動について	14人
懇親会	5月16日(金) 18:00~21:00 三次グランドホテル	親の力をまなびあうプログラム体験研修	14人 青少年育成指導員 行政 智さん
広島県社会教育委員連絡協議会 第1回理事会	6月3日(火) 12:00~16:15 安芸太田町 (川・森・文化・交流センター)	・平成25年度事業報告および歳入歳出決算 ・社教ひろしま第61号編集計画について ・平成26年度広島県社会教育委員連絡協議会表彰について等	議長 森川 幸郎
広島県社会教育委員研修会	6月3日(火) 12:00~16:15 安芸太田町 (川・森・文化・交流センター)	・講演「東日本大震災と社会教育」 東北大学准教授 石井山 竜平 ・分科会 ①社会教育委員の役割 ②家庭教育支援 ③高齢者教育	7人
第2回委員会	7月9日(水) 18:30~20:10 十日市コミュニティセンター	・今期の活動の進め方について	12人 広島県社会教育委員 山村 恵美子さん 青少年育成指導員 行政 智さん
第3回委員会	9月5日(金) 18:30~20:00 みよしまちづくりセンター	・家庭教育に関するアンケートについて (グループ討議 1回目)	13人 青少年育成指導員 行政 智さん
グループリーダー会議	9月26日(金) 18:30~20:00 みよしまちづくりセンター	・グループごとアンケートのすりあわせ	4人
第4回委員会	10月3日(金) 19:00~21:00 みよしまちづくりセンター	・家庭教育に関するアンケートについて (グループ討議 2回目)	12人 青少年育成指導員 行政 智さん
グループリーダー会議	10月27日(月) 19:00~21:00 みよしまちづくりセンター	・グループごとアンケートのすりあわせ	5人
第5回委員会	12月3日(木) 18:30~20:15 三次グランドホテル	・アンケート内容協議(最終) ・アンケートの配付および回収について	12人 青少年育成指導員 行政 智さん
懇親会	12月3日(木) 20:20~21:30 三次グランドホテル	平成26年の慰労	12人 青少年育成指導員 行政 智さん
広島県社会教育委員連絡協議会 第2回理事会	3月13日(金) 14:00~15:30 広島県庁自治会館	・平成27年度事業計画 ・平成27年度歳入歳出予算について等	議長 森川 幸郎
第6回委員会	3月23日(月) 18:30~20:30 みよしまちづくりセンター	・今年度の社会教育事業について ・家庭教育に関するアンケート集計結果分析	11人 青少年育成指導員 行政 智さん

※平成26年度は、市長部局で青少年行政を行っていたため、青少年育成指導員は出席依頼により会議に出席

平成 27 年度 社会教育委員会議開催状況

( 11 月 末 現 在 )

会議名等	日 時 場 所	内 容	出席委員等
第1回委員会	4月20日(月) 18:30~20:30 三次市役所609会議室	・アンケート集計から推測される課題や問題点	10人
グループリー ダー会議	5月25日(月) 18:30~20:30 三次市役所607会議室	・グループごとの課題や問題点のすりあわせ	5人
広島県社会教育委員連絡協議会 第1回理事会	6月2日(火) 10:30~11:30 三次市 (三次市民ホールきりり)	・広島県社会教育委員連絡協議会役員選出 ・平成26年度事業報告および歳入歳出決算 ・社教ひろしま第62号編集計画について ・平成27年度広島県社会教育委員連絡協議会表彰について等	議長 森川 幸郎
広島県社会教育委員研修会	6月2日(火) 12:20~16:25 三次市 (三次市民ホールきりり)	・講演「『おの100挑戦隊~感動創造の旅~』一 想いがつながる100km完歩」 NPOおのみち寺子屋 理事長 柿本和彦 ・分科会 ①社会教育委員の役割 森川議長 事例発表者 ②地域の教育力向上 ③人材育成・キャリア教育	11人
懇親会	6月2日(火) 18:30~21:30 全生山	広島県社会教育委員研修会反省会	14人
第2回委員会	6月22日(月) 18:30~20:30 三次市役所605会議室	・家庭教育に関する提言内容について	13人
グループリー ダー会議	7月13日(月) 18:30~20:30 三次市役所608会議室	・グループごとの提言内容すりあわせ	4人
第3回委員会	8月18日(火) 18:30~20:30 三次市役所601会議室	・家庭教育に関する提言内容について	12人
グループリー ダー会議	9月7日(金) 19:00~21:30 三次市役所607会議室	・提言内容まとめ	5人
グループリー ダー会議	9月25日(金) 19:00~ 三次市役所607会議室	・提言内容まとめ	5人
グループリー ダー会議	10月13日(火) 19:00~ 三次市役所607会議室	・提言内容まとめ	5人
グループリー ダー会議	10月23日(金) 13:30~ 三次市役所5階会議室	・提言内容まとめ	3人
第4回委員会	10月30日(金) 18:30~ 三次市役所607会議室	・家庭教育に関する提言書について ・三次の子育て5か条について	11人

※平成27年度は、教育委員会事務局に青少年行政が所管替えとなり、青少年育成指導員は事務局として会議に出席

社会教育法（抜粋）

#### 第四章 社会教育委員

（社会教育委員の設置）

第十五条 都道府県及び市長村に社会教育委員を置くことができる。

2 社会教育委員は、教育委員会が委嘱する。

（削除）

第十六条 削除

（社会教育委員の職務）

第十七条 社会教育委員は、社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言するため、左の職務を行う。

- 一 社会教育に関する諸計画を立案すること。
  - 二 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。
  - 三 前二号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。
- 2 社会教育委員は、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることができる。
- 3 市町村の社会教育委員は、当該市町村の教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えることができる。

（社会教育委員の委嘱の基準等）

第十八条 社会教育委員の委嘱の基準、定数及びその他社会教育委員に関し必要な事項は、当該地方公共団体の条例で定める。この場合において、社会教育委員の委嘱の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

改正

平成22年6月30日条例第26号

平成26年3月25日条例第10号

三次市社会教育委員条例

(設置)

**第1条** 三次市に社会教育法(昭和24年法律第207号)第15条第1項の規定に基づき、社会教育委員(以下「委員」という。)を置く。

(定数等)

**第2条** 委員の定数は、20人以内とし、教育委員会が委嘱する。

(委員の職務)

**第3条** 委員は、社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言するため、次の職務を行う。

- (1) 社会教育に関する諸計画を立案すること。
- (2) 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。
- (3) 前2号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。

2 委員は、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることができる。

3 委員は、教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えることができる。

(任期)

**第4条** 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠により委嘱された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 教育委員会は、特別の事情があるときは、任期中であっても委員を解嘱することができる。

(議長及び副議長)

**第5条** 委員の会議(以下「会議」という。)に議長及び副議長各1人を置く。

2 議長及び副議長は、委員の互選によるものとする。

3 議長は、会議を主宰する。

4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故があるとき、又は選任されていないときは、その職務を代理する。



5 議長及び副議長がともに欠けるとき、又は選任されていないときは、最年長の委員が議長の職務を代理する。

(会議)

**第6条** 会議は、議長が招集する。

(議事)

**第7条** 会議の議事は、出席委員の過半数で決する。

2 可否同数のときは、議長の決するところによる。

(費用弁償)

**第8条** 委員が公務のため旅行するときは、旅費を支弁する。

2 前項の費用弁償については、三次市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例(平成16年三次市条例第66号)を準用する。

3 前2項に定めるもののほか、旅費の支給方法については、一般職の職員に支給する旅費の例による。

(委任)

**第9条** この条例に定めるもののほか、委員の会議その他運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

#### 附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成16年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の前日までに、合併前の三次市社会教育委員条例(昭和29年三次市条例第37号)、社会教育委員条例(昭和25年布野村条例第1号)、作木村社会教育委員条例(昭和34年作木村条例第18号)、吉舎町社会教育委員条例(昭和28年吉舎町条例第34号)、三良坂町社会教育委員条例(昭和25年三良坂町条例第58号)、社会教育委員条例(昭和34年三和町条例第7号)又は社会教育委員条例(昭和35年甲奴町条例第9号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、それぞれこの条例の相当規定によりなされたものとみなす。

(任期の特例)

3 三次市社会教育委員条例の一部を改正する条例(平成22年三次市条例第26号)の公布の日以後最初の任期満了に伴い委嘱する委員の任期に関する第4条第1項の規定の適用については、同項

中「，2年」とあるのは、「，平成24年3月31日まで」とする。

**附 則**（平成22年条例第26号）

（施行期日）

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の前日までに、改正前の三次市社会教育委員条例の規定によりなされた処分、  
手続その他の行為については、なお従前の例による。

**附 則**（平成26年3月25日条例第10号）

この条例は、平成26年4月1日から施行する。（後略）

### 三次市社会教育委員名簿

(任期:平成26年4月1日～平成28年3月31日)

氏名	備考
モリカワ サチロウ 森川 幸郎	教育サポーター
カジワラ サチヨ 梶原 祥子	女性会
イシダ ムツコ 石田 睦子	親業訓練シニアインストラクター
ウエダ ノリアキ 上田 憲昭	住民自治
アオタニ タツオ 青谷 龍男	障害者福祉
モリタ ケンジ 森田 健二	住民自治
コバタ カズミ 小畠 数美	青少年育成
シモノ ダン カツコ 下野段 勝子	文化
マツシマ カズエ 松島 和枝	男女共同参画
タル マサヒロ 多留 正弘	スポーツ
ヨコヤマ キョウコ 横山 恭子	学生保護者
ババ アツコ 馬場 敦子	学生保護者
ハラダ ミキオ 原田 樹雄	学校教育
ハタ ヒロシ 畑 博志	学校教育

(敬称略)

三次市社会教育委員会 提言  
家庭の教育力向上にむけて

平成 2 7 年 1 2 月

編集・発行 三次市社会教育委員会  
(事務局) 三次市教育委員会事務局  
文化と学びの課文化学習係